

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2	学年	1年	類型	共通選択生
教科書	高校生の美術I(日本文教出版)			副教材	なし				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点					学習のねらい・学習の目標・評価の観点 学習のねらい	
				①	②	③	④			
1 学期	4								1学期は色彩、デザインの基本的な表現を勉強します。色彩の基礎では色の三属性や色相環、色の特性を学び、色彩についての知識を得て、配色について学びます。デザインでは文字について学び、レタリングを行います。	
									2学期はデッサンの基礎からレタリングやデザインの勉強をします。デッサンでは、立体的な表現を目指し、形を面でとらえる事や、陰影をつけ明暗表現を学びます。文字のデザインでは、アイデアの出し方を学びます。	
		デザイン／表現 色彩	色彩の基礎 1、色の三要素 2、色の三原色 3、色のもたらす効果	○		◎			3学期は紙飛行機のデザインや立体表現として紙飛行機を制作し、デザインや立体感覚を養います。	
			レタリング ①文字とデザイン	○	◎					
	5		②名前のレタリング	○		◎				
		絵画／表現 空想の世界	想像を表現 空想「私」の世界 ①アイデasketch		◎	○				
			②着色	○		◎				
	6		②仕上げ	○		◎				
		絵画／鑑賞 空想の世界	鑑賞 作品の相互鑑賞	○		◎			学習の目標	
2 学期	7	デザイン／表現 色彩	配色の魅力 人権ポスター ①アイデasketch		◎	○			美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めます。	
				○		◎				
	8									
		絵画／表現 フォトリアリズム	モノのかたち リアルな表現 形の取り方、明暗の表現 ①下書き	○		◎			評価の観点	
				○	◎				①関心・意欲・態度	
	9			②着色	◎	○			美術の創造活動の喜びを味わい、様々な表現方法や作品に興味を持ち、主体的に授業に取り組んでいるか。	
				③着色	○	○			②発想や構想の能力	
				④仕上げ	○	○			感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えた事を整理し、創造的な表現の構想を練っているか。	
	10	デザイン／表現 文字とデザイン	文字のデザイン ①アイデasketch ②下書き	○		◎			③創造的な技能	
				○	○				創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表しているか。	
				③着色	○	○			④鑑賞の能力	
	11									
		12		④仕上げ	○	○				
				○		◎				
	13	デザイン／鑑賞 文字とデザイン	鑑賞 作品の相互鑑賞	○		◎				
3 学期	1								美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さ美しさを想像的に味わっている。	
		工芸／表現 空飛ぶカタチ	紙飛行機 紙飛行機の制作 ①紙の切り取り ②紙の組み立て	○		○				
				○		◎				
	2			③着色	○	○				
		工芸／鑑賞 空飛ぶカタチ		○		◎				
				○	○					
	3		絵画／表現 絵本の世界	作品の相互鑑賞	○		○		備考	
		○		○						
		○		○						

※評価の観点 ①:関心・意欲・態度 ②:発想や構想の能力 ③:創造的な技能 ④:鑑賞の能力

◆学習方法のポイント

【美術Ⅰ】

【才能の有無は関係ありません。基礎をしっかり身に付け自由に表現しましょう。】

- まずは苦手意識を捨てて、自由に制作しましょう。
- 追究する精神を忘れずに制作しましょう。こだわった作品ほど奥深いものがあります。
- 作品をよりよく表現できる手段を教師から学び、時間いっぱい制作しましょう。
- 様々な作品に触れ、感性を磨きましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 絵画・彫刻、デザイン、映像メディア、鑑賞など幅広い分野を学びます。
- 授業プリント、板書の記録や感想、作品等をスケッチボックスに挟みます。学期末には提出し、ノート点として採点します。
- 鑑賞の時間には積極的に発表し、意見を交換し合います。

【家庭学習】

- 積極的に美術館や博物館に足を運び、作品を鑑賞して感性を磨きましょう。
- 授業中に仕上げることができなかつた作品に関しては、家庭での宿題になります。
- 作品に使えそうな資料や材料を集めて保存しておきましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	課題作品、授業への出席及び、学習意欲、プリントの整理状況を①関心・意欲・態度②発想や構想の能力③創造的な技能④鑑賞の能力の4つの観点から評価します。ただし、課題作品を重視します。
評価の基準	1 学 期 課題作品(全ての観点から評価します) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します) プリントの整理状況(主に①の観点から評価します) 課題提出状況(主に①の観点から評価します)
	2 学 期 課題作品(全ての観点から評価します) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します) プリントの整理状況(主に①の観点から評価します) 課題提出状況(主に①の観点から評価します)
	3 学 期 課題作品(全ての観点から評価します) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します) プリントの整理状況(主に①の観点から評価します) 課題提出状況(主に①の観点から評価します)
	学 年 1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均